

第2回児童福祉施設における防災計画作成指針策定委員会 議事概要

1 日 時 令和7年12月1日（月） 9：30～10：30

2 場 所 石川県地場産業振興センター本館3階 第8会議室

3 出席委員 委員名簿参照

4 議題内容

<概要>

児童福祉施設における防災計画作成指針の改定案について事務局より説明し、各委員から意見をいただいた。

<各委員からの主なご意見>

業務継続計画（BCP）

- ・施設種別や地域の実情に応じて、段階的復旧を見据えて優先すべき業務を選定し、優先業務に必要な物資や人員を整理することがBCPを作成する上では重要。
- ・業務継続の段階では、自分たちでどこまでやれるかだけでなく、受援計画が非常に重要。能登半島地震において、工夫しながら段階的に業務を再開していった施設のエピソード等を盛り込むと良い。

情 報

- ・孤立の可能性が高い施設については衛星通信の配備についても考慮する必要がある。

備 蓄

- ・感染症対応におけるマスク等の備蓄について、利用児童数に対する目安の数量について記載があると良い。
- ・孤立の可能性のある施設については1週間分必要である旨を記載しておく必要がある。
- ・水が使えないことも想定し、ミルクキューブではなく液体ミルクを推奨すべき。
- ・冷却材や扇風機等、暑さへの対策についても記載してはどうか。

保護者等への引き渡し

- ・利用者との普段からの関係性や協力体制の構築が重要。
- ・お泊り保育の訓練等、保護者へ引渡しできないケースに係る計画の記載があると良い。
- ・保護者以外への引き渡しは非常にセンシティブな項目であり、より丁寧な記載が必要。

地域・他施設等との連携

- ・法人間・法人内、地域内・地域外と様々な関係性における重層的な協力体制の構築は重要であるという点について盛り込む必要がある。
特に、避難先となる施設と共同して訓練や避難所運営計画の策定を行う等、協力体制の構築は非常に重要となる。
- ・想定される支援連携先一覧を掲載してはどうか。
特に通所施設においては、日頃から専門職員として働いている人以外の人たちとのネットワークが重要となる。

こころのケア

- ・発達障害児等への一般的な対応方法等について記載があると良い。
- ・職員の離職防止は、災害時における児童福祉施設の経営継続・事業継続にとって非常に重要。職員の安全と安心、健康を守るべきであるということを明記しておく必要がある。

以上